

西日本の公設試で初の装置を導入 摩擦攪拌 (まさつかくはん) 接合装置 実演見学可能

- 東部工業技術センターでは、西日本の公設試験研究機関で初めてとなる摩擦攪拌(まさつかくはん)接合装置を導入しました。
- 機械関連産業などにおいて、従来の接合技術と比較して歪みの軽減や、軽量化、コスト削減が見込まれます。例えば、新幹線のアルミ製大型床材の接合に活用されている技術です。
- 令和2年8月から運用開始する前に、メディアの皆様へ本装置を事前に紹介する摩擦攪拌接合実演見学を受け付けています。
(電話での申し込みで、個別に取材を受け付けています。)



※ 問い合わせ先 東部工業技術センター 技術支援部 Tel:084-931-2402 装置の外観

- (運用開始予定) 令和2年8月3日(月)～
企業等見学, 利用受付開始(要相談)
- 本装置は、経済産業省「地域新成長産業創出促進事業費補助金(地域未来オープンイノベーション・プラットフォーム構築事業)」により導入しました。

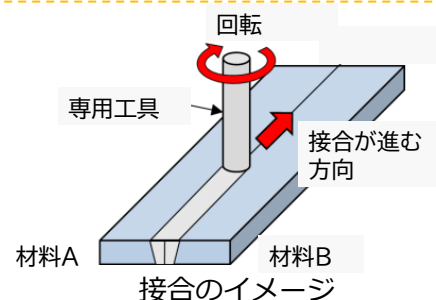
【摩擦攪拌接合とは】

専用工具を接合したい箇所に回転させながら押し付け、接合したい材料を摩擦熱で軟化させつつ混ぜ合わせることで、接合する技術です(材料を溶かさずに接合します)。

《特徴》

一般の溶接と比較し、次のメリットがあります。

- ① 接合強度が高く, 歪の少ない接合が可能となります。
- ② 接合時に騒音や粉じんの発生を抑制できます。
- ③ 接合部を保護するシールドガスが不要になります。



接合材の外観一例